

行政・病院事業改革特別委員会

人事評価と人材育成

Q：人事評価制度によって、年功序列を突破することもあるか？

A：人事評価は昇格にも活用する趣旨で始まったが、能力だけですぐに昇格に結びつけるのは未だ難しい。本町においても年功序列だけではなく有能な職員が上に立つべきだと考えるので、評価制度を活かしていきたい。

Q：研修履歴の蓄積や評価は？

A：目標を立てるときに、研修受講の意志も書き込むことができ、実績も把握可能に。評価対象にもなる。

Q：自分の評価結果を知ることができる？

A：今までは開示請求しないと見れなかったが、今後は評価が終わった段階で見ることが可能に。

Q：やる気のある職員をしっかりと評価できる？

A：業績と能力の両面で日頃から上司が評価しシステムに入力できる。評価に上司の好みが出ないよう、定期的に管理職の研修を行い、複数の上司が評価し客観性を保つ。

人事評価を人材育成と適材適所配置に活かして

- 自分の評価を知り、キャリアアップに向けた研修計画を相談できるような仕組みを。
- 適材適所、その人の能力が発揮できるような配属を。

役場出張所業務の隣接郵便局への委託の状況と今後

Q：町内で初めて郵便局に出張所業務が委託された和田地区で、住民が困ったことは？

A：自治会資料の印刷を出張所では無料で行っていたが、郵便局ではそれができない。郵便局で出来る業務は限られているため、業務によっては総合支所まで行く必要がある。

Q：今後他の支所に拡大しようとした場合の懸念点は？

A：会議室や調理室など貸し館業務も行っている場合の施設管理業務をどうするか。

できない理由ではなくどうやったらできるかを考えよう

- どう改善したら他の地域にも展開ができるか、前向きな検討を！
- 将来の人口減少をみすえて、何を効率化し、何を残すか。地元の理解は非常に大切だが、将来像を描いて、できる方法を考えてほしい。

※ その他、マイナンバーカードの活用策、町主催スポーツイベント等への職員出務の在り方、温浴施設などについても議論しました。

議会改革の観点からの議員定数及び議員報酬のあり方を考える特別委員会



委員会の調査研究テーマ

本年、3月21日に設置されたこの特別委員会。毎月1回のペースで開催、委員間で活発な意見が交わされています。議員報酬及び議員定数は時代に合わせて変えていかねばなりません。そのため、議会改革を並行して行いたいという委員長の意気込みのもと、9月議会での提言を目指し、議会改革、議員定数、議員報酬について議論を深めています。

議会改革

- ・議員間討論、議会報告会、委員会等の中継、ホームページ等での情報発信の4つを提案する。
- ・議会報告会や意見交換会よりも、特別委員会ごとにテーマを決め、それに沿った内容で開催しては。
- ・議会改革のなかで広報に関しては、議員個人で行うこと、議会として行うことは分けて考えるべき。
- ・各議員が何の制約も受けずに、どんどん発信できる議会になれば。それを町民も望んでいるのでは。
- ・議員の本会議場での不適切な行動については懲罰の対象だが、それ以外はないので政治倫理条例を制定しては。

議員定数

- ・報酬を上げる反面、定数を削減するという姿勢を示さないといけない。12名が妥当では。
- ・定数を減らさないほうが良い。それぞれが担っている専門分野もあり、現在の14名が適正では。
- ・報酬を上げたにも関わらず、次の選挙で立候補者が足りない場合に定数減を考えたらよい。
- ・次の選挙を踏まえ二段構えで、まずは報酬を上げ、改革を行い、定数については2年後に最終結論を出す方向で。

議員報酬

- ・合併して以来、議員定数は減らしてきたが、報酬は一度も上げていない。議員のなり手不足解消という目的もあるので上げるべき。
- ・議員報酬はなるべく早く上げて、次の選挙の時にその報酬を前提に立候補できる環境は作っておくべき。
- ・山口県の最低賃金推移表によると、合併時638円、昨年度979円で約1.5倍になる。報酬増の根拠は、最低賃金と物価上昇の率を基に5割増でイメージしてもらいたい。

【議論の参考にしたデータ】

- ・町職員の大卒の初任給が2005年から2025年にかけて約3割引き上げられている。
- ・全国町村議会議長会議員報酬シミュレーションにより算出した場合も約3割引き上げの計算となる。